

リッチ・ニューヨーク・タイムズ東京支局長との懇談会を開催

—日韓関係や少子高齢化対策めぐり意見交換—

開催日 : 2019年8月29日(木)

場所 : 経団連会館

来賓 : モトコ・リッチ ニューヨーク・タイムズ東京支局長

経済広報センターは、経済界の広報活動強化の一環として、有力外国メディアのジャーナリストとの懇談会を継続的に開催しており、8月29日、ニューヨーク・タイムズの本多・リッチ東京支局長を招き意見交換を行った。

同センターの主要会員企業・団体から30名が参加。日韓関係の現状や、記者クラブの存在など企業や政府と報道機関の関係、少子高齢化に向けた対策、日本人のアイデンティティの変化など、幅広いテーマで活発に意見を交換した。

リッチ氏は、急速に緊張関係の高まった日韓関係について、これまでの政治面での問題が経済や安全保障面に及んでいることに対して懸念を表明。参加者からは、人口減少による労働力不足をいかに補うかについて、デジタルイノベーションの推進などを



を含めさまざまな見解が示された。また、リッチ氏は、就労環境を整備し、多種多様な考え方に接するようになることは日本人が人生を楽しむことにつながり、ひいては経済を活性化していくうえで重要であるとの考えを示した。

リッチ氏は、フィナンシャル・タイムズ、ウォール・ストリート・ジャーナルでの勤務を経て、2003年にニューヨーク・タイムズに入社。ニューヨークで経済や文化、教育など幅広い分野をカバーした後、2016年に東京支局長に就任し、混迷する日韓関係や女性の活躍推進などについて幅広く執筆している。

以上